

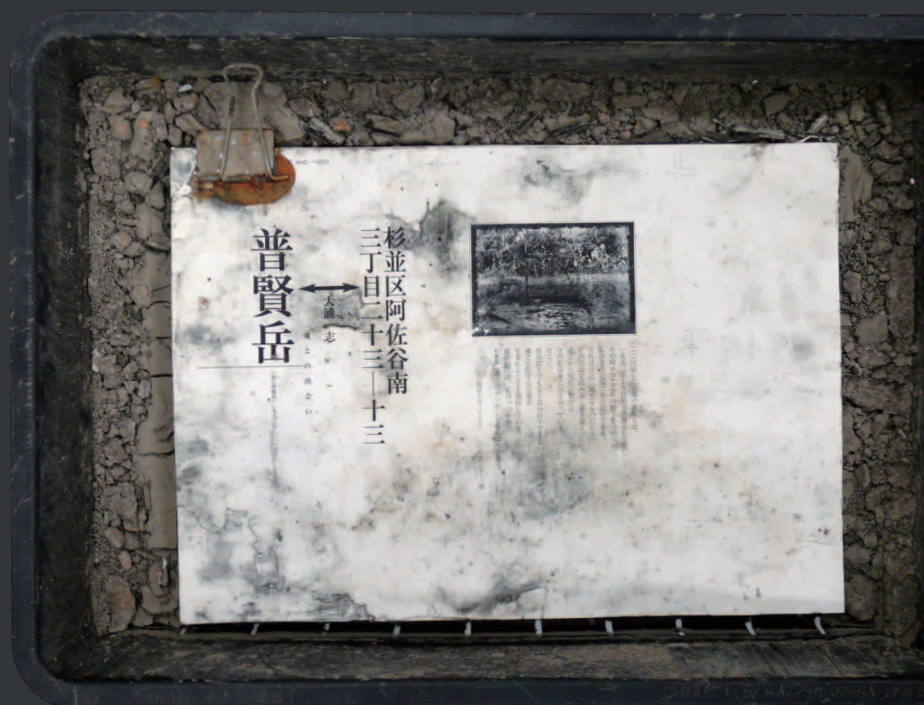
MOMASコレクションⅣ

アーティスト・プロジェクト

大浦一志 自然と人間 雲仙普賢岳 との20年

2011.09.23

雲仙普賢岳の大火砕流から20年余、
被災地での定点観測、
フィールドワークを続けてきた
ひとりの美術家の営みは
自然と向き合い、
記憶の地層を掘り起こして
見ることの深さを問いかける。



2005.01.06～04.06

2012年1月7日(土)～4月15日(日)

埼玉県立近代美術館 常設展示室

併設:「水・緑・光」、「春のにぎわい」、「闇に浮かぶ顔一柄澤済の〈肖像〉シリーズ」

観覧料:一般200円(120円)、大高生100円(60円) ()内は20名以上の団体
中学生以下と65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名を含む)はいずれも無料。
企画展観覧券をお持ちの方は、あわせてMOMASコレクションもご覧いただけます。

埼玉県立近代美術館 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1 tel. 048-824-0111 <http://www.momas.jp>
休館日:月曜日(1月9日は開館) 開館時間:10:00～17:30(入場は閉館の30分前まで)

主催:埼玉県立近代美術館、Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会
問い合わせ:埼玉県立近代美術館内 Saitama Art Platform 形成準備事業実行委員会事務局
tel. 048-824-0110(中村) / e-mail:SMF.info@artplatform.jp

SMF は身近な場所でアートを享受し支援し
再創造するプラットフォームをめざしています。
<http://www.artplatform.jp>

MOMASコレクションⅣ

アーティスト・プロジェクト

大浦一志：自然と人間 雲仙普賢岳との20年

2012年1月7日(土)～4月15日(日)

埼玉県立近代美術館 常設展示室

併設：「水・緑・光」、「春のにぎわい」、「闇に浮かぶ顔—柄澤清の〈肖像〉シリーズ」

観覧料：一般200円(120円)、大高生100円(60円) ()内は20名以上の団体

中学生以下と65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名を含む)はいずれも無料。

企画展観覧券をお持ちの方は、あわせてMOMASコレクションもご覧いただけます。

休館日：月曜日(1月9日は開館) 開館時間：10:00～17:30(入場は閉館の30分前まで)

2011.05.20

雲仙普賢岳の大火碎流被災を報道で知り、1992年から現地で残骸物の掘出しや採取を行い、定点観測を継続している美術家・大浦一志。自然の圧倒的なエネルギーと人間の営みの関わりを探る思索と行動と鎮魂のプロジェクトを紹介します。



大浦一志(おおうらかずし) 1953(昭和28)兵庫県生まれ
写真を媒介に身の周りの事物にさまざまな時間の眼差しを重ねることから、「見ること」の深さを問う作品づくりへと展開。1997年第26回現代日本美術展で毎日現代美術大賞受賞。普賢岳の定点観測は1992年から継続するライフワーク。大浦一志アートデザイン室主宰。武蔵野美術大学教授

1990(平成2)年11月17日、突如1997年の静寂を破り雲仙普賢岳が噴火した。翌年6月3日、大火碎流が発生し消防・警察・報道・火山学者・地元住民など40人の死者と3人の行方不明者を出した。

私は、多くの生命と家屋を奪ったこの自然災害の後、1992年8月より現地(長崎県南島原市)と東京(自宅)を往還し定点観測を行いながらフィールドワークを続けてきた。大火碎流により被災した民家跡から「玄関扉」や「軽トラック」の残骸などを掘り出し、自然の圧倒的なエネルギーを受けた残骸物を手もとに引き寄せ、その存在とは何かを探った。また再生に向かう環境の中で小さな残骸を地面に並べ風化の姿を観た。そして現地活動の記録を紙束にして地中に埋めては掘り出す作業には想像を超える様々な驚きがあった。

現在は、国土交通省雲仙復興事務所の砂防指定地域内に埋まっている20年前の「被災民家跡」と、その下に眠る縄文晩期の「権現脇遺跡」の二つの地面を掘り分け公開展示までを行う「雲仙普賢岳・重層発掘プロジェクト」を計画している。実現すれば、そこには太古からの縦の時間軸を感じることができる空間が出現するに違いない。そして、大火碎流から20年目を迎えた今年、4月から9月までの6ヶ月間、現地に滞在し「被災民家跡」の発掘作業を進めてきた。

この自然と都市を往還する定点観測による活動は、噴火後の普賢岳の地で自身の五体・五感を通して自然災害と人間生活の現実を凝視し、現代に生きることや死の意味を問う「身体と視覚の関係」の探求であり、生きることのリアリティを可視化することであると思われる。

2011・11・11 大浦一志

開催記念シンポジウム「災害と美術—ひとりの美術家の営みが問いかけられるもの」

2012年1月15日(日) 13:30～15:30(開場13:00) 埼玉県立近代美術館講堂

定員:40名(当日先着順)、入場無料(ただし展覧会観覧には観覧券が必要です)

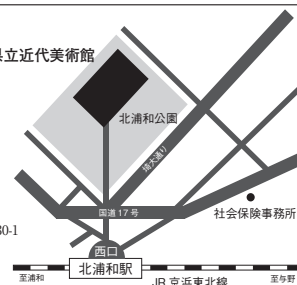
パネリスト:原田光(岩手県立美術館館長)、本田雄峰(社会福祉法人山陰会 普賢学園理事)、大浦一志(美術家)

企画展示室

「薔薇と月夜を愛した画家 アンリ・ル・シダネル展」2011年11月12日～2012年2月5日

「清水晃・吉野辰展」2012年2月11日～3月25日

埼玉県立近代美術館



埼玉県立近代美術館
〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
tel. 048-824-0111 http://www.momas.jp
JR京浜東北線 北浦和駅西口徒歩3分
(東京方面からは大宮行きをご利用ください)